

☆探鳥会 ここが見どころ聞きどころ☆

九十九島クルーズ探鳥会のご案内

今里順一郎

当面の間探鳥会は事前申込制にしております。
参加希望の方は、上記リーダーもしくは事務局宛に、氏名・住所・人数・連絡先を、
電話かメールでお知らせください。

今里順一郎 TEL 090-7928-9257

E-mail: kp444245@bk2.so-net.ne.jp

支部事務局 E-mail: nagasaki@wbsjn.sakura.ne.jp

日時：2021年5月23日（日）

11:00 ~ 12:00（クルーズ50分）

集合時刻：10:00-

集合場所：パールシーリゾート 海きらら前広場（佐世保市鹿子前町 1008 0956-28-4187）



久しぶりのクルーズ探鳥会です。前回は、2017年に行いましたので、それ以来の4年振りになります。

魅力いっぱいの九十九島について少し説明します。佐世保市から平戸市にかけての海岸は、入り組みが多いリアス式海岸になっていて、それに伴って多くの島が点在しています。全域が西海国立公園に指定されています。佐々川河口から北部が北九十九島、それより南側が南九十九島といわれています。



島の数は、2001年に「九十九島の数調査研究会が調査を行ったところ208ありました。諸説ありますが現在この数が公式とされています。

今回は、南九十九島を遊覧船に乗りながら、野鳥を観察したいと思います。小さい島にもメジロやヒヨドリ、イソヒヨドリなどが生息しています。

島の中にいる小鳥を見つけるのは大変ですが、島々間を移動するものを観察できることと思います。また、5月は渡りの時期なので、アカエリヒレアシシギやキアシシギ、キョウジョシギなどのシギ類にも期待したいと思います。

この探鳥会の一番の目玉は、ミサゴの観察です。ミサゴは、長崎県では普通に見ることができるタカでそれほど珍しくはありませんが、九十九島では繁殖の様子を割と近い距離で観察することができます。島の岩礁のてっぺんやクロマツの上に巣をかけて産卵し子育てをする様子を遊覧船の甲板から上を見上げることなく目の高さで見ることができるのは、なかなかほかの場所ではありません。巣をいくつ見つけることができるでしょうか。5月下旬はどのような状態なのかを知ることができます。

また、クロサギも多く生息しているので探したい鳥です。島の岩場でエサを探したり、海上すれすれを飛んだりする姿が観察できるといいですね。

カムリウミスズメは、この時期は難しいかもしれませんが。冬季は運がいいと九十九島の内湾まで入ってきた個体を遊覧船からも観察することができますが、4月から10月頃までは九十九島周辺ではあまり観察されていません。しかし、絶対に見ることはできないとは言えないので、ほんのちょっぴり期待しましょう。

遊覧船での探鳥のいいところは、歩かなくていいところです。甲板の往復くらいであとは船がいろいろな島を案内してくれます。疲れたら下の部屋でゆっくりと過ごすこともできます。たとえ野鳥が少なくても美しい九十九島を堪能できることでしょ



(写真:クロサギ)

是非、この機会に遊覧船での探鳥を経験してみませんか。お待ちしております。なお、遊覧船の乗船代がかかりますのでご承知ください。

大人一人 1,500 円 シルバー (70 歳以上) 1,300 円
子ども 750 円

パールシーリゾートとビジターセンターへの行き方 (パールシー HP より引用)

(路線バス)

佐世保駅前バス停 6 番乗場

行き先 :「パールシーリゾート・九十九島水族館」(30 ～40 分おきに運航)

所要時間 : 佐世保駅から約 25 分

運賃 : 大人 260 円 小人 130 円

(乗用車)

「西九州自動車道 佐世保中央 IC」出口の信号を右折→平瀬町交差点を右折→SSKバイパスを直進→バス停「第4ドッグ前」通過後、はじめの信号を右斜め下→トンネルを抜けて信号左→パールシーリゾート

九十九島クルーズ探鳥会の後は、野鳥の会長崎県支部の総会です。

日時 : 5月23日 (日) 13:00 ～ 15:30

場所 : ビジターセンター2階研修室 (海きららの隣)